

(別紙2) 外構施設整備計画要領

1. 外構施設の整備

外構施設の整備内容は、次のとおりである。

■外構施設の整備	
共通事項	<ul style="list-style-type: none">・整備範囲は現水島公民館敷地、現水島児童館敷地に加え、水島支所敷地、西側の市道「水島北幸町1号線」の一部、水島中学校のグラウンドの一部とし、詳細は【別添資料14】モデルプラン（配置）による。これらを一体性のある外構施設として、整備すること。・ユニバーサルデザインに配慮すること。・セキュリティに配慮した、死角が少なく見通しが良い、安心安全な計画とすること。・メンテナンスしやすく、ライフサイクルコストに配慮した計画とすること。・緑化は、「倉敷市緑の基本計画」及び「倉敷市自然環境保全条例」に基づき行うこと。・「建築物移動等円滑化誘導基準」に適合していること。・照明設備については、構内のセキュリティ、歩行者の安全を考慮し、設置すること。・維持管理上必要な電源を、適宜設置すること。・舗装、各種仕上げの種類の選定にあたっては、安全性、快適性、景観等への配慮、排水負担の軽減等を考慮すること。
動線計画	<ul style="list-style-type: none">・施設利用者の動線とサービス動線等を明確に区分すること。・歩行者動線と自動車動線の分離に努めること。・障がい者や高齢者等の快適かつ安全な移動に配慮すること。・外部からの動線は、市道「連島町連島西千鳥町線」を主とした敷地内への出入口とすること。・市道「連島町連島西千鳥町線」の既設歩道に連続して敷地内側に歩道スペースを整備し、現状よりも歩道として機能する部分を1.5m以上拡幅すること。・市道「連島町連島西千鳥町線」の既設歩道の拡幅及び出入口の設置に支障となる電柱は、移転することを前提として計画すること。なお、電柱移転に伴う手続きは、市と協議を行うこと。・現状、市道「水島北幸町4号線」に歩道は整備されていないが、敷地内側に幅2.0m以上の歩行者スペースを整備すること。・市道「水島北幸町1号線」の一部は用途廃止後、歩行者自転車専用の通路とすること。なお、用途廃止の手続きは市にて行うが、現地での用途廃止の事前予告看板の設置、道路の封鎖など、工事に関わ

(別紙2) 外構施設整備計画要領

	<p>る部分は、市の指定する期間に、事業者において実施すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道の用途廃止後においても、水島支所の維持管理のための動線に配慮すること。 ・現水島公民館解体時に廃止する電柱は、撤去されることを前提に計画すること。なお、電柱撤去に伴う手続きは、市と協議を行うこと。 ・歩行者自転車専用の通路と道路の境界付近には、車両侵入防止措置を設置すること。 ・市道「水島北幸町5号線」及び市道「連島町連島西千鳥町線」からの一般車両出入口を、それぞれ1か所以上設置すること。 ・市道「水島北幸町4号線」からの公用車両出入口を、1か所以上設置すること。 ・市道「連島町連島西千鳥町線」、市道「水島北幸町5号線」及び市道「水島北幸町4号線」に接する出入口を除く部分には、囲障を設置することにより、安全性を確保すること。 ・駐車場から各施設出入口までの、円滑なアプローチ動線を確保すること。合わせて、敷地外から各施設出入口までのアプローチ動線についても、視覚誘導ブロック設置やサインの設置を行うこと。 ・ホールを使用するイベント等の際、バスの転回やイベント資材の搬出入等の動線として、駐車場を活用可能なよう配慮すること。 ・交流広場や駐車場の一部等を活用したイベント開催（キッチンカーの駐車、飲食物の販売）も可能な計画とすること。 ・駐車場と出入口の計画においては隣接する水島中学校の生徒の通学路に配慮すること。 ・駐輪場への動線も含め、自転車動線の安全性に配慮すること。 ・歩道の切り下げや舗装の現況復旧、埋設管の敷設等、道路に係る整備に関して、関係諸機関との協議に基づいて行うこと（敷地外工事を含む）。
交流広場	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の日常的な憩いや賑わい、交流の場として、また、イベント開催の場として、開放的な広場を設置すること。 ・内部と外部を効果的につなぐ空間とすること。 ・水島市民交流センターの交流スペースとの連続性を持たせることで、一体的な利用も可能とし、賑わいのある空間を整備すること。 ・日常的にも過ごしやすいう、日除けやベンチの設置、植栽や芝生などを、適宜整備すること。 ・舗装については、滑りにくい安全性の高いものとし、適切な排水が可能であること。なお、キッチンカーやメンテナンス車両等の通行

(別紙2) 外構施設整備計画要領

	<p>を想定すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要箇所に照明、電源盤を設置すること。 ・清掃用水栓を適宜設置すること。 ・予備配管を見込むこと。
児童館用 屋外広場	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の屋外活動の場として、広場を設置すること。 ・児童館の受付後、下足のまま児童館管理区域外を通ることなく利用可能な配置計画とすること。 ・用途に適した高さのフェンス等により囲い、周囲の駐車場や歩道等から独立した場所として、利用する子どもの安全を確保するとともに、ボールなどが外に出ないように配慮すること。 ・活動の様子が外部からもうかがえる設えとすること。 ・砂場を設置すること。面積は協議による。 ・砂場には、可動式シェードを設置するなどの日よけ対策を行うとともに、猫よけのネットを周囲にめぐらせること。 ・一輪車スペース（ゴムチップ舗装等）を設け、練習用手すりを設置すること。面積は協議による。 ・主に幼児や小学生の児童が、安全に使用可能な遊具を1基以上設置すること。内容や基数等は提案による。なお、遊具は、維持管理がしやすく耐久性のある材質、構造とし、天然木材の使用は不可とする。また、日差しにより遊具が加熱されることによる火傷などへの対策を、可能な限り講じること。 ・バスケットボールのゴール1基を、設置すること。高さは協議による。 ・水栓、手洗い場、足洗い場を設置すること。 ・児童や保護者が、適宜休憩するための日除け及びベンチ等を設置すること。 ・児童館用屋外倉庫と近接すること。
児童館用 屋外倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具、ボール、一輪車などの外遊び用の遊具等を保管する、延べ面積25㎡程度の倉庫を整備すること。 ・児童館用屋外広場から搬出入可能な配置とし、扉を設置すること。 ・車両が寄り付きやすく、搬出入可能な扉を設置すること。 ・壁材は、備品等の衝突時に欠損が発生しないような材料とすること。

(別紙2) 外構施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・主要構造材、二次部材等について、海岸近くに立地することを考慮し、外壁や屋根などの仕上げには、汚れが付きにくい仕上げとするなど必要に応じて適切な対策を講じること。 ・照明は、安心して利用するための十分な照度を確保すること。 ・換気設備を設けること。 ・児童館用屋外広場と隣接すること。
水島中学校敷地の一部整備	<ul style="list-style-type: none"> ・水島中学校敷地の一部（グラウンド東側の幅 6.6m、約 610 m²）を歩行者自転車用の通路及び駐車場として整備すること。 ・水島中学校の既設防球ネットの一部を撤去し、敷地の東面及び南面の敷地境界付近に高さ 10m程度の防球ネットを設置すること。また、テニスコートの西面及び北面のグラウンドとの境界付近に、高さ 7 m程度の防球ネットを設置すること。 ・テニスコートへの出入口は、西面及び北面の防球ネットに各 1 か所設置すること。 ・ソフトテニスのコート（4 面）として使用可能とするため、クレイ舗装整備を行うこと。 ・ソフトテニスライン、S U S 製ネットポスト、ネット及びアルミ製審判台を各コートに設置すること。 ・必要となる雨水排水側溝等を設置すること。 ・不要な水栓柱は撤去し、テニスコート南側に水栓設備を 1 か所設置すること。位置は協議による。 ・テニスコートの南側及び北側の 2 か所に、日除け付きのベンチを設置すること。 ・歩行者自転車用の通路及び水島中学校敷地の敷地境界付近には、簡単に乗り越えられないネットフェンスを設置すること。なお、基礎及び立ち上がり部分はコンクリート製とすること。 ・歩行者自転車用の通路及び水島中学校敷地の敷地境界付近には、緊急時に使用する出入口を 1 か所設置すること。 ・歩行者自転車用の通路や水島市民交流センターなどから、プールへの視線を遮るため、プールに面した部分は、目隠しフェンス等により遮蔽すること。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・水島市民交流センターと水島支所の駐車場は、一体的な利用を可能とすること。 ・車いす使用者用駐車場は、法令で定める基準以上の台数を、意匠に配慮した屋根付きで、水島市民交流センター付近及び水島支所付近にそれぞれ確保すること。なお、当該駐車場から各施設まで、安全

(別紙 2) 外構施設整備計画要領

	<p>かつ快適で、雨天時に濡れることなく移動が可能となるよう配慮すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす使用者用駐車場の屋根の主要構造材、二次部材等については、海岸近くに立地することを考慮し、仕上げには、汚れが付きにくい仕上げとするなど、必要に応じて適切な対策を講じること。 ・水島市民交流センター用の公用車駐車場 2 台及び物流車両駐車場 1 台、水島支所の公用車駐車場 9 台（軽自動車用）の駐車区画を整備すること。 ・一般利用者の駐車場は、水島市民交流センター敷地と水島支所敷地を合わせて 220 台以上の駐車区画を整備することとし、可能な限り駐車台数を確保すること。 ・車室の区画線はダブルラインとすること。 ・駐車場から各施設まで、快適かつ安全に移動可能となるよう配慮すること。 ・ホールへの備品や舞台道具の搬出入が、容易に可能となるよう、適切な場所に荷下ろしスペースを設置すること。なお、荷下ろしスペースは、4 t ロングトラックが寄り付けることを想定して計画し、適切な動線を計画すること。 ・「駐車場法」に基づく、路外駐車場としての設置基準を満足していること。 ・駐車場出入口は、一時停止や進行方向を表示すること。 ・駐車場出入口には、入出場管理用のゲートスペースを確保すること。 ・ゲート用の予備配管を見込むこと。 ・安全柵、車止め、駐車場表示を適宜設置すること。 ・駐車場及び各施設への動線に、照明を設置すること。 ・照明は、安心して利用するための十分な照度を確保すること。 ・点滅方式は、外光や人感による自動点滅及び時間点滅が可能な方式とすること。 ・中央監視室より点灯操作が可能な方式とすること。 ・電源（1.5kW 程度）を 6 か所以上設置すること。 ・駐車場は、意匠及び周辺景観に配慮すること。
駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・水島市民交流センターに隣接した、外部からアプローチしやすく、利用者が安全に施設に移動可能な場所に、自転車 80 台分以上の屋根付き駐輪場を整備すること。 ・水島支所に隣接した、外部からアプローチしやすく、利用者が安全に施設に移動可能な場所に、一般用自転車 35 台分以上及び職員用

(別紙2) 外構施設整備計画要領

	<p>自転車 45 台分以上の屋根付き駐輪場を整備すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場は、動線を考慮して配置し、意匠及び周辺景観に配慮すること。 ・自転車、普通自動二輪車の出し入れに、支障の無い通路幅を確保すること。 ・普通自動二輪車が、斜めにならずに駐輪可能な奥行を確保すること。 ・屋根の主要構造材、二次部材等については、海岸近くに立地することを考慮し、屋根などの仕上げには、汚れが付きにくい仕上げとするなど必要に応じて適切な対策を講じること。 ・駐輪場及び各施設への動線に、照明を設置すること。 ・照明は、安心して利用するための十分な照度を確保すること。 ・点滅方式は外光や人感による自動点滅及び時間点滅が可能な方式とすること。 ・中央監視室より点灯操作可能な方式とすること。
舗装	<ul style="list-style-type: none"> ・通行や管理のために、必要な範囲において、舗装を行うこと。 ・舗装材については、安全性、耐久性や意匠に配慮し、適材適所とすること。
サイン計画	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内のためのサイン（施設名板、案内用掲示板、サインポールを含む。）を、適宜設置すること。 ・敷地内及び周辺地域の景観に配慮したものとし、全体で統一されたデザインとすること。 ・安全かつ視認性が高く、ISO規格に準拠したピクトサインを活用すること。 ・必要に応じて、多言語対応を行うこと。
植栽	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理が容易な樹種とし、敷地外や建築物、排水管及び舗装等への影響に配慮すること。 ・樹種の選定については、周辺環境との調和、景観、施設の特徴を考慮することに加え、木陰や落葉の影響、根上がりなどを考慮すること。 ・敷地内への出入口を除く部分には、囲障として中低木を植樹すること。 ・水島支所敷地の既存植栽のうち、シャリンバイについては、可能な限り存置又は移植すること。 ・雨天時に、植栽部分の地面が流出しないよう配慮すること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内にある石碑等については、【別添資料 18】外構移設品等リストのとおり適切に移設すること。

(別紙 2) 外構施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・水島支所敷地の碇のモニュメントの付近に、掲揚ポール（高さ 9 m 程度）を 3 本設置すること。
■屋外照明・屋外給排水設備等	
屋外照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯、安全、用途等を考慮した屋外照明設備を設置すること。なお、点滅方式は外光や人感による自動点滅及び時間点滅が可能な方式とすること。 ・中央監視室で操作可能なものとする。屋外でも操作可能な制御盤を設置すること。 ・水島支所敷地内は、水島支所より電源供給を行い、水島支所中央監視室で操作可能なものとする。屋外でも操作可能な制御盤を設置すること。
防犯カメラ設備	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯、安全等を考慮した防犯カメラ設備を駐車場、屋外広場等に設置すること。 ・事務室、中央監視室にて監視制御が可能とすること。
屋外給水設備	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、散水栓、手洗い場等を設置すること。なお、設置に際しては、適切な給水方式とすること。
雨水排水側溝等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性、耐久性が高く、メンテナンスしやすいものとする。
雨水流出抑制施設	<ul style="list-style-type: none"> ・「倉敷市総合浸水対策の推進に関する条例」等に基づき、雨水流出抑制施設を設置すること。 ・雨水流出抑制施設の種類、位置、設置数、規模は提案によるが、メンテナンスしやすく、ランニングコストの低廉な施設とすること。 ・雨水貯留の算定範囲面積は、水島市民交流センター及び水島支所の敷地面積とすること。 ・原則、雨水排水は雨水貯留施設を経由し、八間川への放流を計画すること。
公共下水道 （市道「水島北幸町 1 号線」に敷設されている管渠）	<ul style="list-style-type: none"> ・工事完成後も維持管理が容易で、将来の更新が可能な計画とすること。なお、維持管理は、バキューム車、洗浄車を想定しており、歩行者自転車専用の通路は、最低でも 4 t 車が進入可能な通路とすること。また、工事期間中も供用可能な状態とし、維持管理可能な状態を確保すること。 ・本管は再使用とするが、既存の雨水集水設備は外構施設等の整備に伴い撤去、更新し、新たな排水計画に基づき整備すること。また、夾雑物や土砂が本管や雨水貯留施設に流入しないようスクリーンを設置する等、適切に配慮すること。 ・本管の柵レベル調整、補修等は本事業で対応すること。

(別紙2) 外構施設整備計画要領

	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホール蓋は撤去、更新とし、仕様は市と協議し決定する。
都市ガス管	<ul style="list-style-type: none"> ・市道「水島北幸町1号線」に敷設されている都市ガス管は、市道「水島北幸町1号線」の廃止に伴い、都市ガス事業者から倉敷市へと移管されるため、ガス関連法令に基づく維持管理用のバルブ等の設置が必要となった場合は、本事業内で設置すること。 ・工事期間中においても、現水島公民館、現水島児童館及び水島支所への都市ガス供給に影響がないよう、仮設計画すること。
水島市民交流センター敷地	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な配管、配線、機器、グリーストラップ等は撤去すること。 ・既存の引込み用の都市ガス管は、適切な管径で撤去、更新すること。 なお、ガス管を更新に合わせて、耐震性の高い中圧ガス管からの引込みとすることが望ましい。ただし、既設ガス管の劣化状況、流量等を確認し、適切に機能を満たす状態であれば、必要に応じて補修等の措置を講じたうえで再使用しても良い。
水島支所敷地	<ul style="list-style-type: none"> ・既設の屋外給水管、排水管及び雨水管は、原則、撤去し、新たに整備すること。ただし、既設配管の劣化状況、流量等を確認し、適切に機能を満たす状態であれば、必要に応じて補修等の措置を講じたうえで再使用しても良い。 ・引込みから水島支所までの都市ガス管（市道「水島北幸町1号線」に敷設されているガス管）は、適切な管径で撤去、更新すること。 なお、ガス管の更新に合わせて、耐震性の高い中圧ガス管からの引込みとすることが望ましい。 ・水島支所用の引込柱に支障が無い計画とすること。 ・不要な配管、配線、機器、グリーストラップ等は撤去すること。